

宮城県商工区会 中小企業景況調査報告書

2021年4月～6月期

目 次

1. 県下産業全体の景況	2
(1) 主要景況項目のあらまし	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし	3
(3) 今後の見通しについて	4
2. 県下産業別の景況	5
(1) 製造業の動向	5
(2) 建設業の動向	8
(3) 小売業の動向	11
(4) サービス業の動向	14

2021年7月

宮城県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

2021年4月～6月

[調査要領]

1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、
利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、
遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、
石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 148企業

2. 調査対象期間

2021年4月～6月期を対象として、調査時点は2021年6月1日とした。

3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	3 2
建 設 業	2 5
小 売 業	4 4
サービス業	4 7
合 計	1 4 8

5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

1. 県下産業全体の景況

(1) 主要景況項目のあらまし

① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2021年4月～6月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より17.7ポイントの改善で△32.0(前期△49.7)となった。産業別でも、製造業が△21.9(前期△43.6)と21.7ポイント改善、建設業で△20.0(前期△36.0)と16.0ポイント改善、小売業で△46.5(前期△58.2)と11.7ポイント改善、サービス業でも△31.9(前期△53.2)と21.3ポイントの改善と、全業種で改善となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)としては悪化の見通しである。産業別では、製造業で悪化、建設業、小売業で横ばい、サービス業では改善の見通しである。

表一1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 49.7	△ 32.0	△ 34.5
製造業	△ 43.6	△ 21.9	△ 46.7
建設業	△ 36.0	△ 20.0	△ 20.0
小売業	△ 58.2	△ 46.5	△ 46.5
サービス業	△ 53.2	△ 31.9	△ 23.4

② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業が15.6%で前期比2.7ポイント増加、建設業では12.0%と前期と同じ、小売業では6.8%で前期比△6.8ポイント減少、サービス業では17.0%と前期比4.5ポイントの増加であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業で横ばい、建設業、サービス業で減少、小売業で増加となっている。

表一2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	12.9	15.6	15.6
建設業	12.0	12.0	8.0
小売業	13.6	6.8	13.6
サービス業	12.5	17.0	10.6

(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

① 売上額（完成工事額）

2021年6月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期(2021年3月調査)と比較して、製造業が6ポイント改善のマイナス7、非製造業は2ポイント改善のマイナス9だった。先行きは製造業で今期に比べ改善、非製造業では今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では全業種で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業・建設業で全国・東北以下、小売業では全国以下、東北よりは若干の下、サービス業では全国・東北以上であった。

表-3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 45.6	△ 10.7	△ 50.3	△ 8.6	△ 43.7	△ 18.8
建 設 業	△ 21.7	△ 14.8	△ 22.5	△ 8.1	△ 36.0	△ 20.0
小 売 業	△ 50.2	△ 27.5	△ 54.1	△ 38.1	△ 63.6	△ 38.6
サービス業	△ 61.1	△ 15.9	△ 58.6	△ 20.5	△ 54.2	△ 6.4

② 採 算

宮城の今期の採算D Iも、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業・小売業・サービス業で改善、建設業では悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業・建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では全国・東北以上であった。

表-4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 39.4	△ 20.3	△ 51.0	△ 24.5	△ 50.0	△ 34.3
建 設 業	△ 20.9	△ 19.9	△ 25.2	△ 20.2	△ 32.0	△ 36.0
小 売 業	△ 43.5	△ 36.8	△ 49.5	△ 46.9	△ 61.3	△ 51.2
サービス業	△ 52.6	△ 29.7	△ 51.9	△ 31.1	△ 52.1	△ 21.2

(3) 今後の見通しについて

① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2021年7月～9月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で△24.9ポイントの悪化、建設業で△8.0ポイントの悪化、小売業で△6.9ポイントの悪化、サービス業でも△6.4ポイントの悪化の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で△12.6ポイントの悪化、建設業では8.0ポイントの改善、小売業で4.7ポイントの改善、サービス業でも6.0ポイントの改善見通しとなった。

② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国・宮城共に悪化、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。建設業では売上は全国・宮城共に悪化、採算では全国で悪化、宮城で改善の見通しとなった。小売業では売上は全国・宮城共に悪化、採算では全国・宮城共に改善の見通しとなった。サービス業では、売上は全国・宮城共に悪化、採算では全国で悪化、宮城で改善の見通しとなった。

表-5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 10.7	△ 13.3	△ 18.8	△ 43.7
建設業	△ 14.8	△ 25.6	△ 20.0	△ 28.0
小売業	△ 27.5	△ 35.3	△ 38.6	△ 45.5
サービス業	△ 15.9	△ 28.6	△ 6.4	△ 12.8

表-6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 20.3	△ 18.8	△ 34.3	△ 46.9
建設業	△ 19.9	△ 24.0	△ 36.0	△ 28.0
小売業	△ 36.8	△ 34.7	△ 51.2	△ 46.5
サービス業	△ 29.7	△ 31.1	△ 21.2	△ 15.2

2. 県下産業別の景況

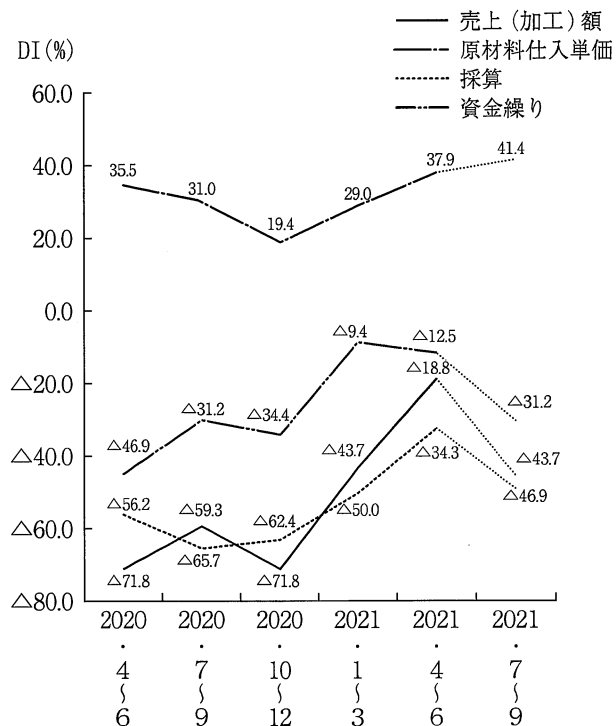
(1) 製造業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比DIは、売上（加工）額DIが今期△18.8（前期△43.7）となり24.9ポイント前期より改善、採算DIでも今期△34.3（前期△50.0）で15.7ポイント改善、資金繰りDIでは今期△12.5（前期△9.4）で△3.1ポイントの悪化となった。

原材料仕入単価は今期37.9（前期29.0）と8.9ポイント上昇した。

図1-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



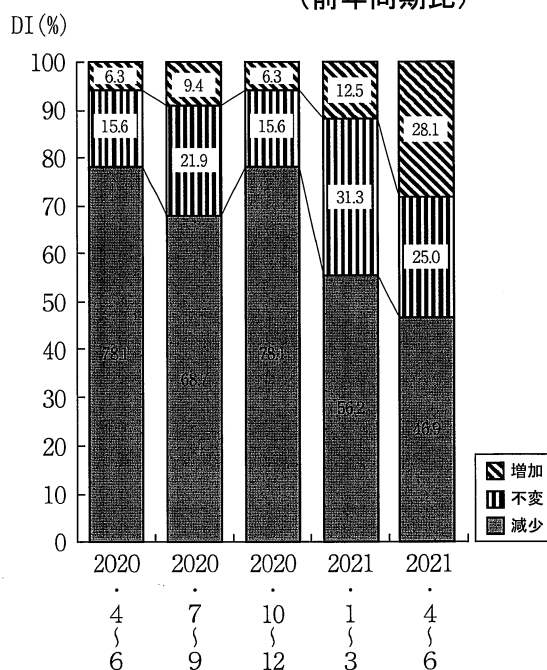
② 主要景況項目別状況

(a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の28.1%（前期12.5%）と15.6ポイント増加、「減少」と回答した企業は46.9%（前期56.2%）と△9.3ポイント減少した。

その結果、売上（加工）額DIは△18.8（前期△43.7）となり前期比24.9ポイント改善した。

図1-2 売上（加工）額の状況
(前年同期比)

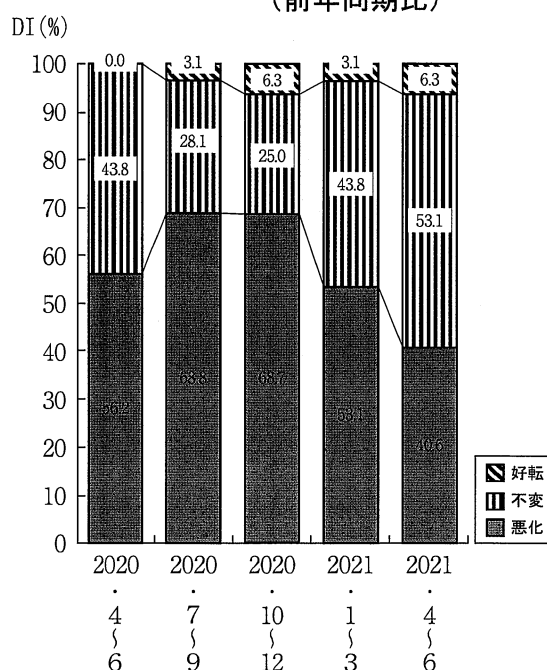


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 6.3% (前期 3.1%) で 3.2 ポイント増加、「悪化」と回答した企業は 40.6% (前期 53.1%) で△12.5 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△34.3 (前期△50.0) で前期より 15.7 ポイント改善した。

図 1-3 採算の状況
(前年同期比)



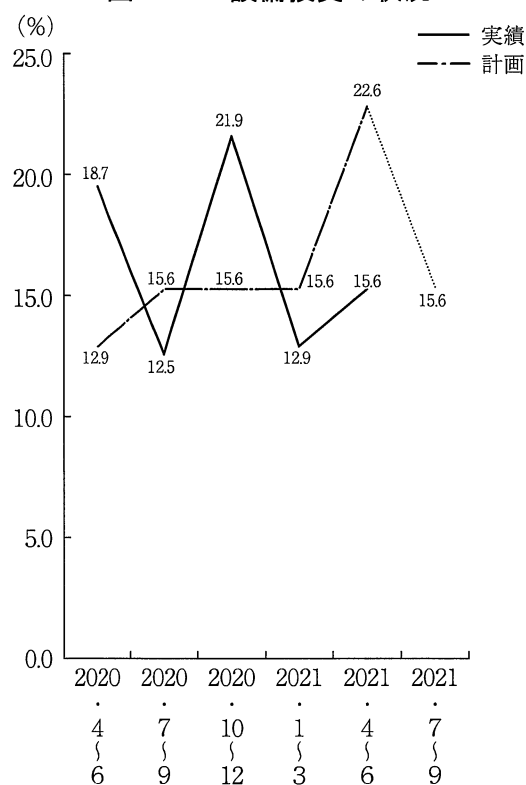
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の 15.6% (前期 12.9%) で、前期と比べ 2.7 ポイント増加した。

その設備内容は、工場建物、生産設備、OA機器、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 15.6%で、その設備内容は、生産設備、車両・運搬具、OA機器、福利厚生施設となっている。

図 1-4 設備投資の状況



(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」で20.0%、次いで「製品(加工)単価の低下、上昇難」が16.7%、「原材料価格の上昇」、「製品ニーズの変化」、「熟練技術者の確保難」、「その他」が同率10.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が50.0%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「製品(加工)単価の低下、上昇難」が33.3%、「原材料価格の上昇」が23.3%で続いた。

③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上(加工)額DIでは全地域(全区分)で改善した。

その改善度は、東北、全国、宮城の順であった。

採算DIの比較でも全地域(全区分)で改善した。

その改善度も、東北、全国、宮城の順であった。

本県回答事業者からは「コロナ禍でも受注を確保しているが、熟練技術者の確保が厳しい状況。代わりとなりうる機械導入を模索中」(アパレル業)や、「コロナ禍でも経済活動が可能となる仕組みづくりや施策の必要性を感じる」(豊製造業)などのコメントがあった。

図1-5 経営上の問題点

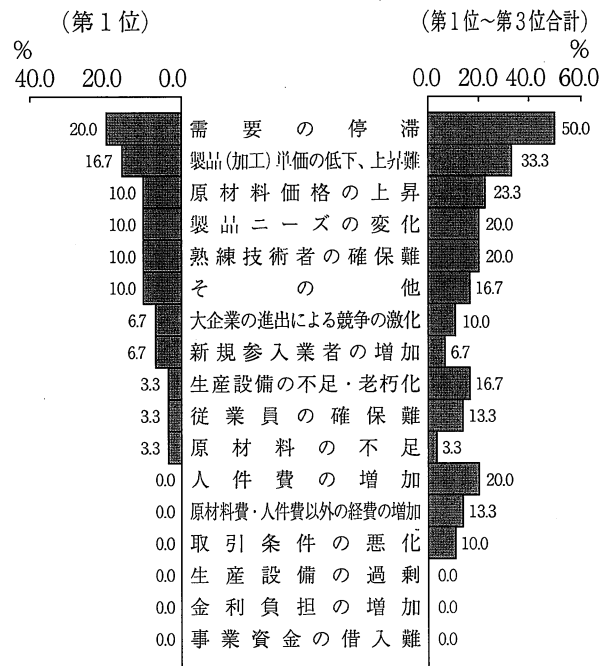
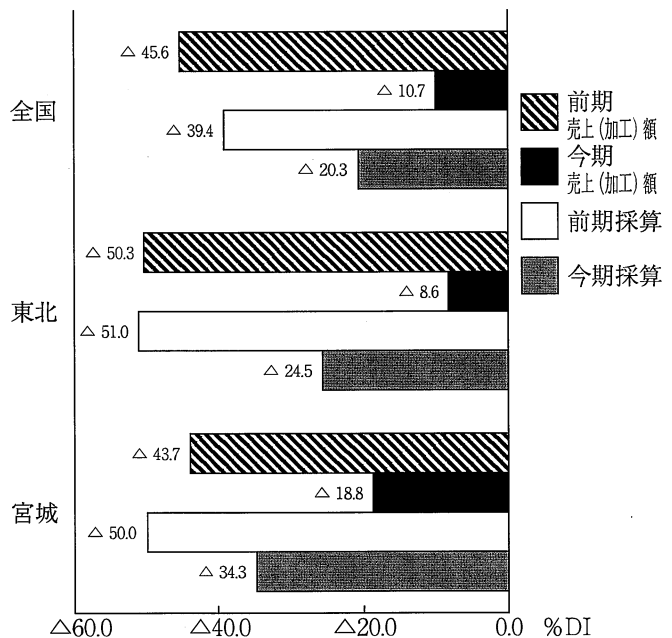


図1-6 全国東北宮城売上(加工)額・採算比較(前年同期比)

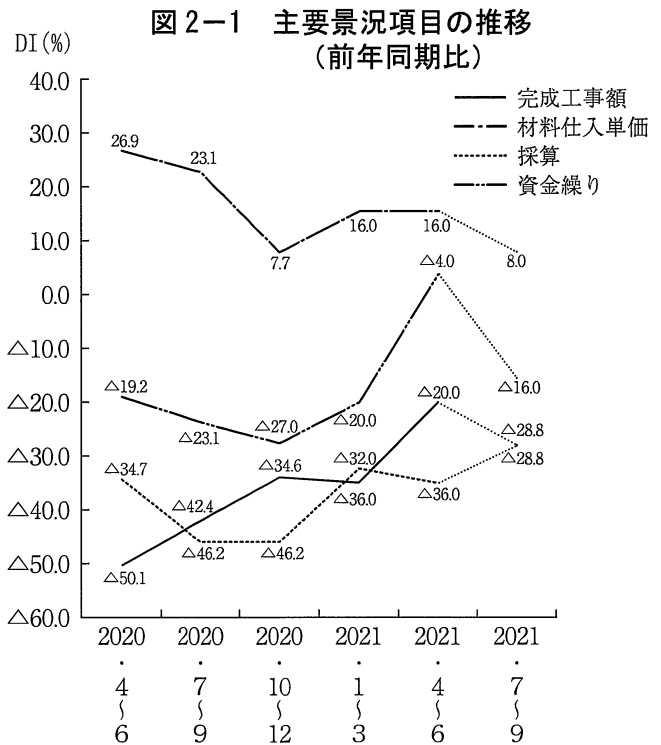


(2) 建設業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額DIは今期△20.0（前期△36.0）と16.0ポイント改善、採算DIは今期△36.0（前期△32.0）で△4.0ポイント悪化、資金繰りDIでは今期△4.0（前期△20.0）と16.0ポイント改善した。

材料仕入単価DIは今期16.0（前期16.0）と横ばいであった。



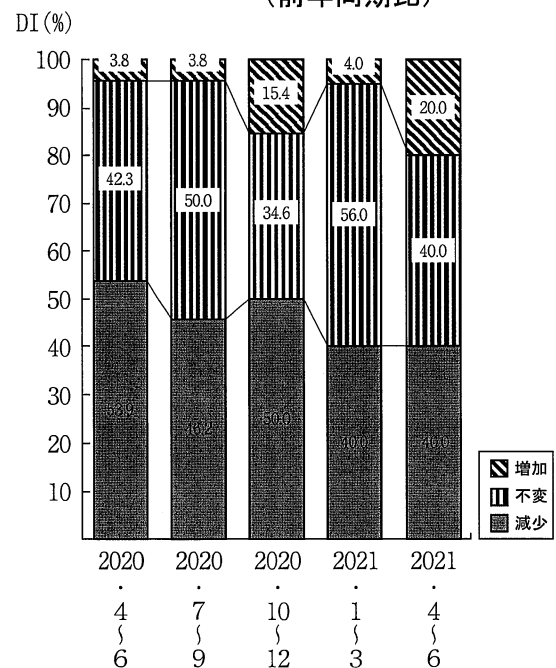
② 主要景況項目別状況

(a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の20.0%（前期4.0%）で16.0ポイント増加、「減少」と回答した企業は40.0%（前期40.0%）で横ばいであった。

その結果、完成工事（請負工事）額DIは△20.0（前期△36.0）と16.0ポイント改善した。

図2-2 完成工事額の状況
(前年同期比)

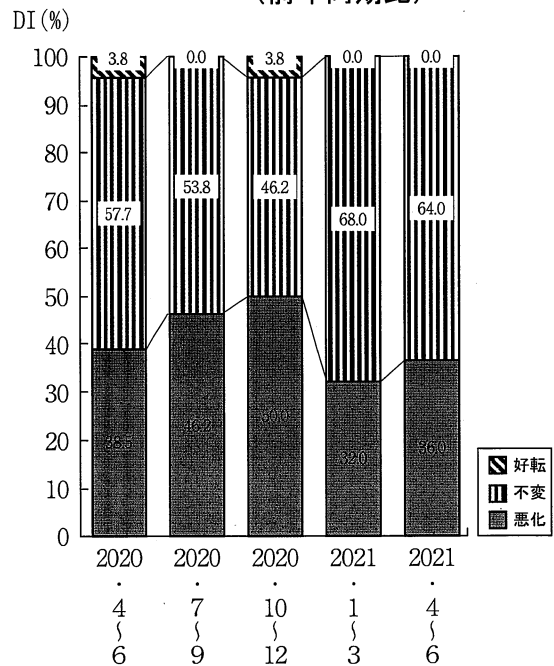


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 0.0% (前期 0.0%) で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の 36.0% (前期 32.0%) で 4.0 ポイント増加した。

その結果、採算DIは△36.0 (前期△32.0) と前期より△4.0 ポイント悪化した。

図 2-3 採算の状況 (前年同期比)



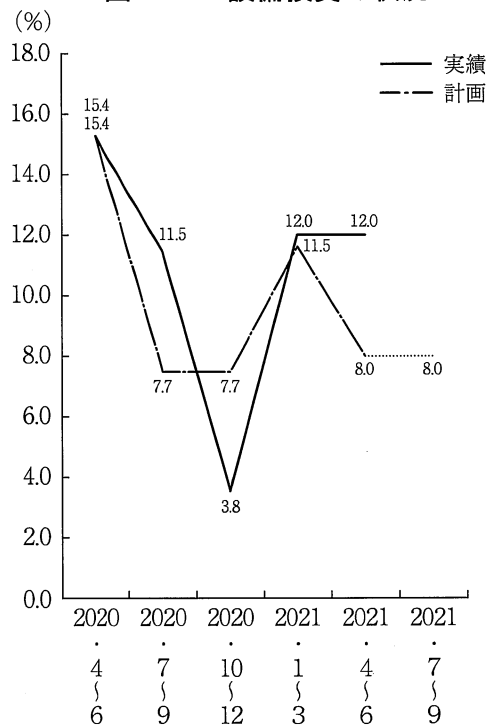
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 12.0% (前期 12.0%) で、前期と同じであった。

その設備内容は、建設機械、車両・運搬具、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 8.0%で、その設備内容は、土地、建物、車両・運搬具、OA機器となっている。

図 2-4 設備投資の状況

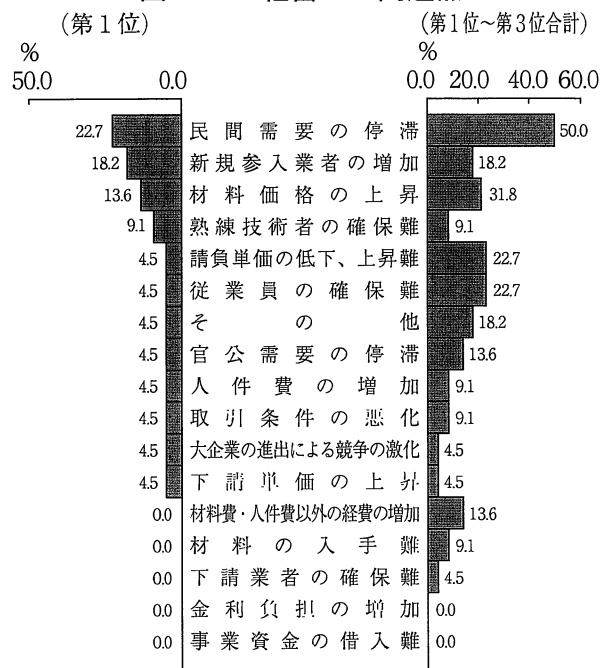


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「民間需要の停滞」が22.7%で、次いで「新規参入業者の増加」が18.2%、「材料価格の上昇」が13.6%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「民間需要の停滞」が50.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「材料価格の上昇」が31.8%、「請負単価の低下、上昇難」と「従業員の確保難」が同率22.7%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



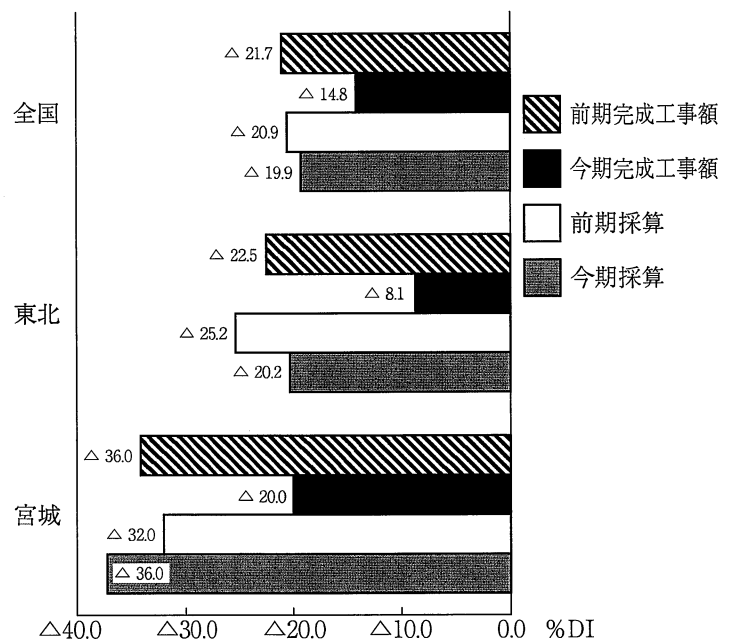
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額DIは全地域（全区分）で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIの比較では、全国で若干の改善、東北で改善、宮城で悪化となった。

本県回答事業所からは「ウッドショックにより木材単価が上昇し、また納期が不明確に」、「景気の悪化で設備投資が減少し、外注費が抑制傾向に」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



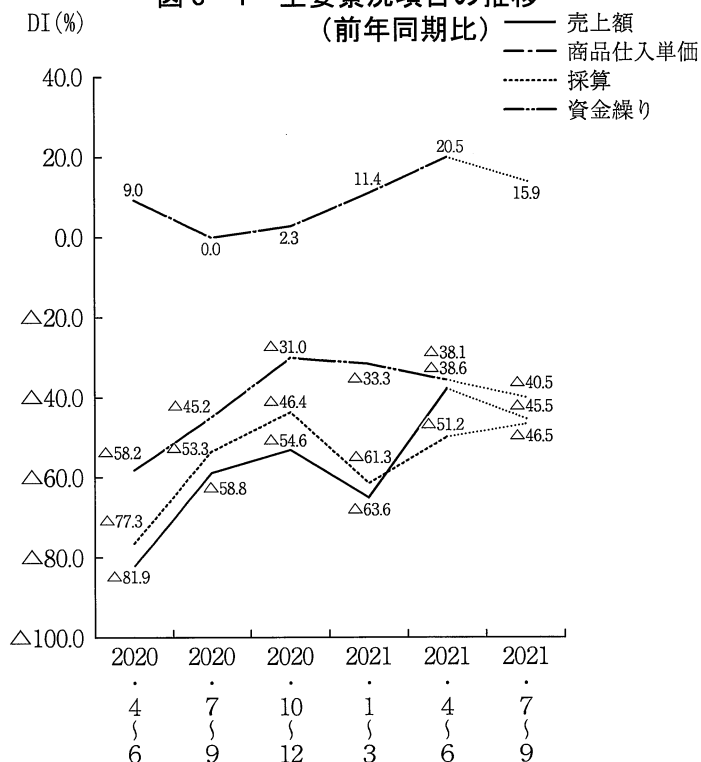
(3) 小売業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上額DIは今期△38.6(前期△63.6)と前期より25.0ポイント改善、採算DIも今期△51.2(前期△61.3)で10.1ポイント改善、資金繰りDIでは今期△38.1(前期△33.3)で△4.8ポイント悪化した。

商品仕入単価DIは今期20.5(前期11.4)となり、9.1ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



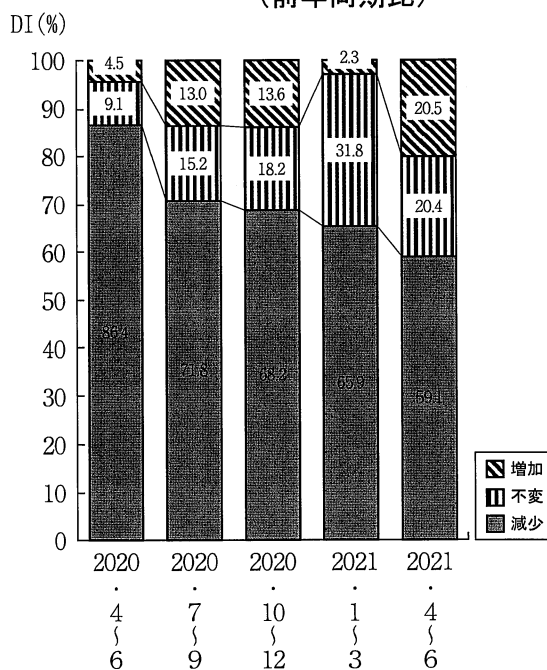
② 主要景況項目別状況

(a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の20.5%(前期2.3%)で18.2ポイント増加、「減少」の回答は、今期は全体の59.1%(前期65.9%)で△6.8ポイント減少した。

その結果、売上額DIは今期△38.6(前期△63.6)と前期より25.0ポイント改善した。

図3-2 売上額の状況
(前年同期比)

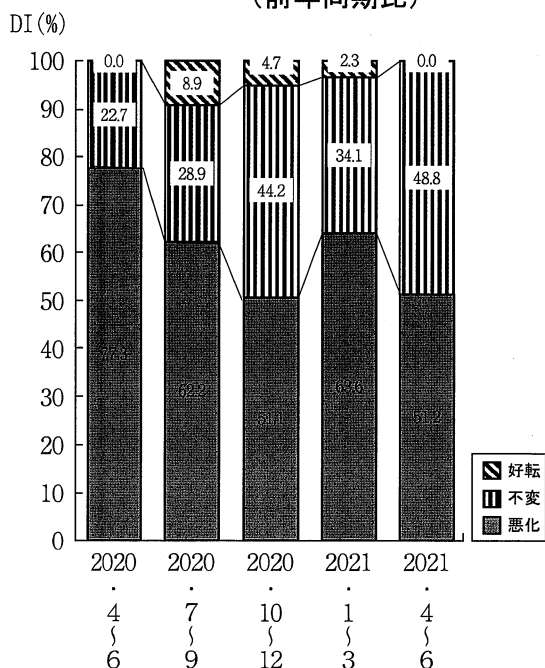


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の0.0%（前期2.3%）と△2.3ポイント減少、「悪化」の回答も、今期は全体の51.2%（前期63.6%）で△12.4ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△51.2（前期△61.3）で、前期より10.1ポイント改善した。

図3-3 採算の状況
(前年同期比)



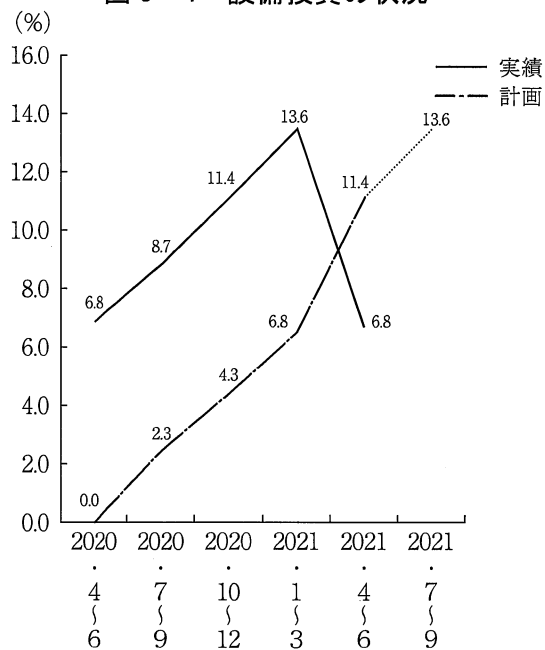
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の6.8%（前期13.6%）で、前期比△6.8ポイント減少した。

その設備内容は、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の13.6%で、その設備内容は、販売設備、車両・運搬具、OA機器、その他となっている。

図3-4 設備投資の状況

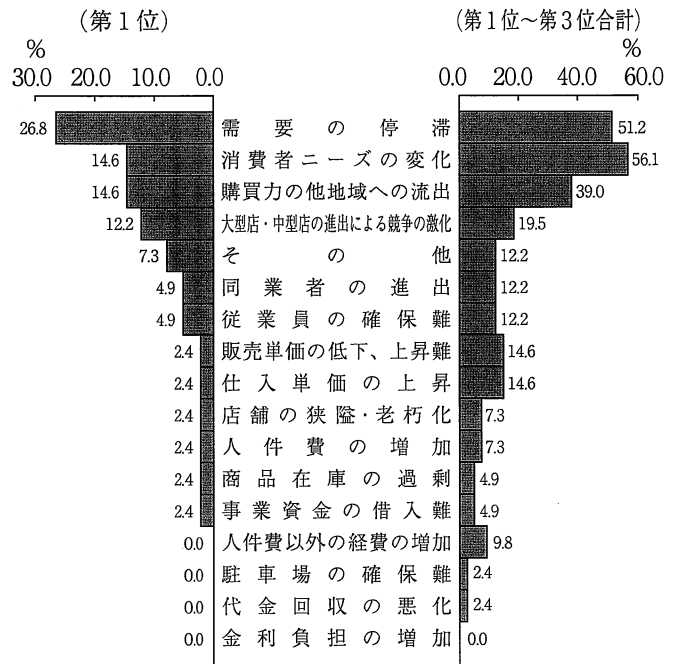


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が26.8%で、次いで「消費者ニーズの変化」と「購買力の他地域への流出」が同率14.6%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「消費者ニーズの変化」が56.1%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「需要の停滞」が51.2%、「購買力の他地域への流出」が39.0%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



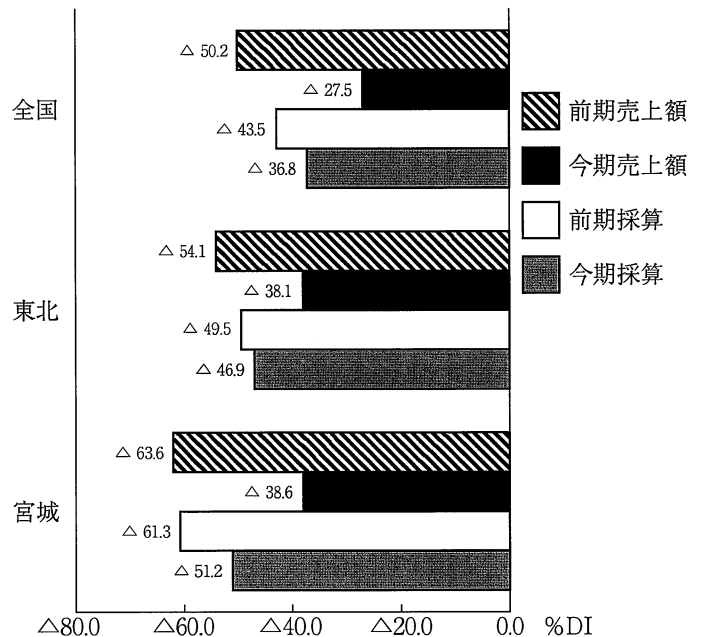
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全地域(全区分)で改善した。その改善度は宮城、全国、東北の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で改善した。その改善度でも宮城、全国、東北の順であった。

本県回答事業所から「コロナ禍で、外販営業が自粛状態」(家電販売)や「大型店の影響を受けるも、朝市で売り上げを挽回している」(フラワー販売)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



(4) サービス業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上(収入)額D Iは今期△6.4(前期△54.2)で47.8ポイント改善、採算D Iも今期△21.2(前期△52.1)で30.9ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△13.1(前期△37.8)で24.7ポイント改善した。

利用客数D Iは今期△4.2(前期△54.1)で49.9ポイント増加した。

② 主要景況項目別状況

(a) 売上(収入)額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の29.8% (前期 8.3%) で前期より 21.5 ポイント増加、「減少」の回答は今期 36.2% (前期 62.5%) で△26.3ポイント減少した。

その結果、売上(収入)額D Iは今期△6.4(前期△54.2)で前期より47.8ポイント改善した。

図4-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)

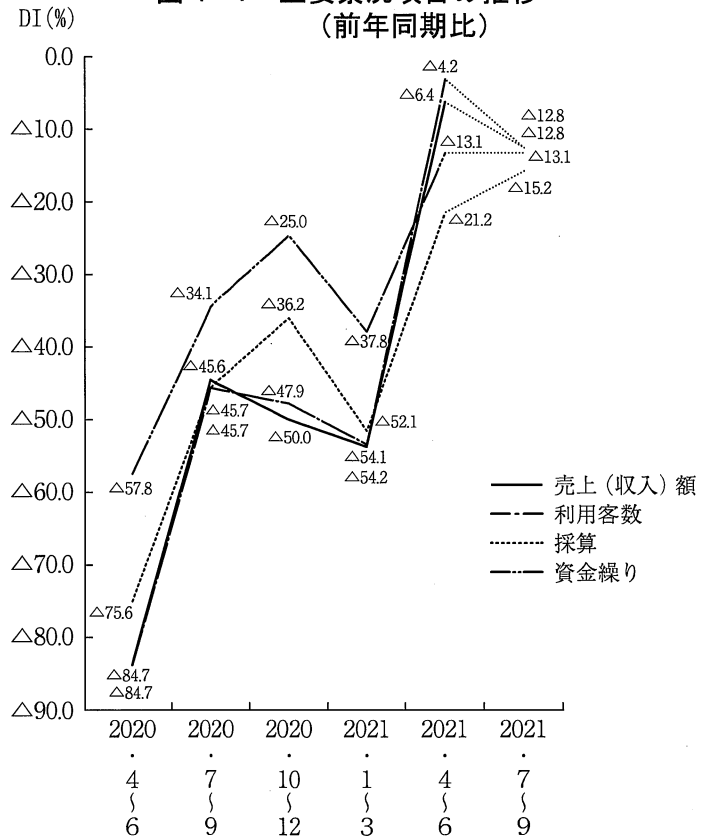
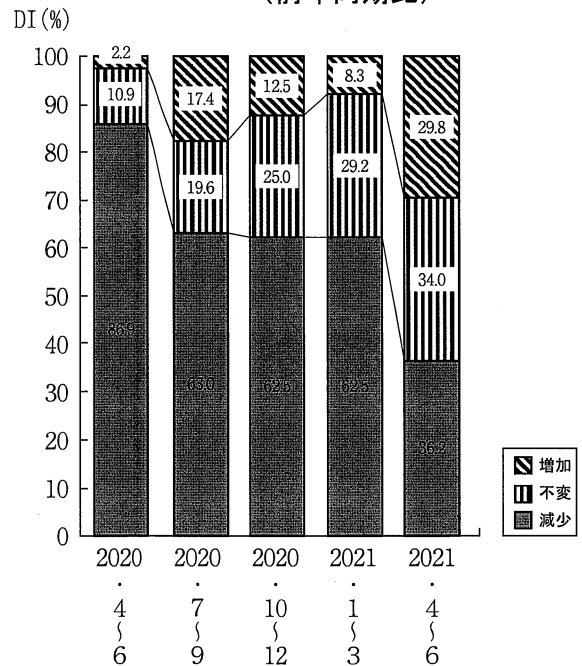


図4-2 売上(収入)額の状況
(前年同期比)

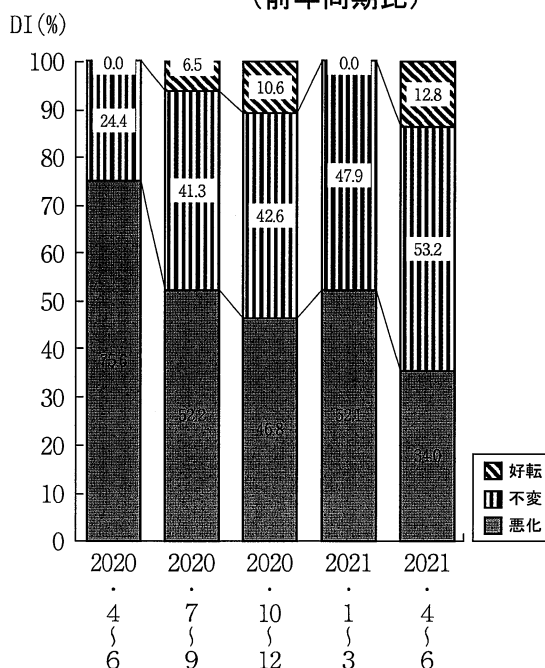


(b) 採算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の12.8%（前期0.0%）で12.8ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期34.0%（前期52.1%）と△18.1ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△21.2（前期△52.1）で前期より30.9ポイント改善した。

図4-3 採算の状況
(前年同期比)



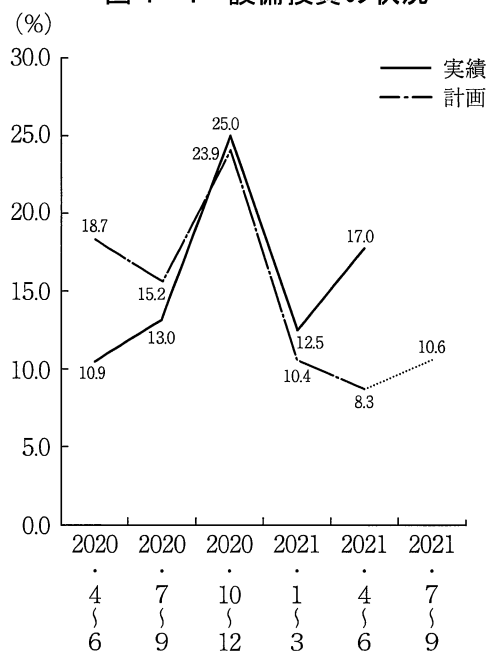
(c) 設備投資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の17.0%（前期12.5%）で、前期より4.5ポイント増加した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の10.6%で、その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設となっている。

図4-4 設備投資の状況

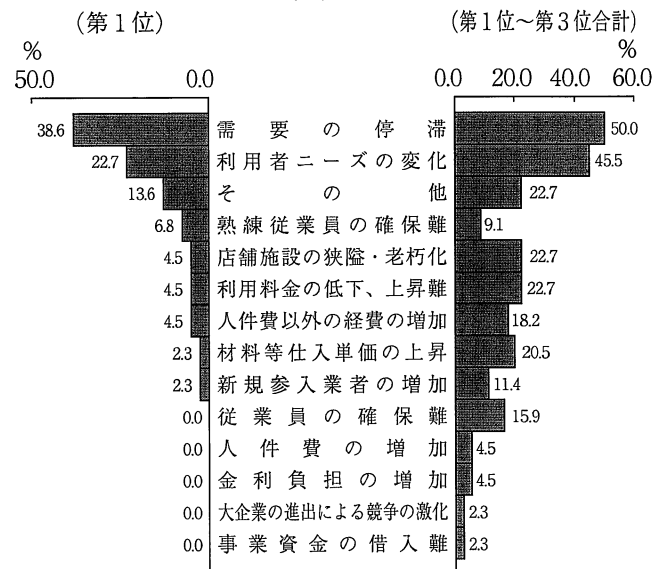


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が38.6%で、次いで「利用者ニーズの変化」が22.7%、「その他」が13.6%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が50.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「利用者ニーズの変化」が45.5%、「その他」、「店舗施設の狭隘・老朽化」、「利用料金の低下、上昇難」が同率22.7%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全地域(全区分)で改善した。

その改善度は宮城、全国、東北の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で改善した。その改善度でも宮城、全国、東北の順であった。

本県回答事業所からは「コロナ禍後を見据えて、スタッフのレベル上げを図っていく」(飲食業)や「ホームページの更新やリニューアルを検討中」(理容業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

